

謹賀新年

平成二十四年



議会

申間市議会議長
門田 國光

多様な民意を反映した 議会運営に努めて参ります。

あけましておめでとうございませう。昨年、東日本大震災、鳥インフル、新燃岳の噴火など、一昨年の口蹄疫問題に引き続き、甚大な自然災害に見舞われました。今年こそは、皆さまにとりまして希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、本市をはじめ地方自治体の置かれている状況は、国における地域主権改革の推進に伴って自治体の自立が求められています。これは地域のことは地域に住む住民が、責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会づくりを指しています。この中であって申間市が、今までより増して、自立する地域力と財政力を身につけるためには、選択と集中による施策の厳選が不可欠であり、決定までの過程を市民へ情報公開し、施策決定にかかる情報の共有化が必要となります。そして、最も重要になるのが市民との協働で、現在、庁内に協働推進係を設置し、行政手法の転換を図っているところであります。

あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議長のお話につき、初めての新年を迎えましたが、市政発展と円滑なる議会運営に市民の皆さまの期待に添えるよう誠心誠意精進して参る所存であります。

昨年を振り返りますと東日本大震災や高病原性鳥インフル、新燃岳噴火など甚大な災害が発生した年でありました。

国政では野田内閣が発足し、野田総理大臣は所信表明で東日本大震災からの復旧・復興を最優先課題に掲げられました。今も不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に衷心よりお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧・復興を願う次第であります。

申間市に目を向けますと、昨年7月「志布志湾大黒イルカランド」がオープンしました。観光浮揚を期待しております。また申間出身の西宮市甲陽園「ケーキハウスツマカリ」の社長津曲孝さんが「現代の名工」に、山口国体では福島



行政

申間市長
野辺 修光

市民協働による まちづくりに取り組みます。

あけましておめでとうございませう。昨年、東日本大震災、鳥インフル、新燃岳の噴火など、一昨年の口蹄疫問題に引き続き、甚大な自然災害に見舞われました。今年こそは、皆さまにとりまして希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、本市をはじめ地方自治体の置かれている状況は、国における地域主権改革の推進に伴って自治体の自立が求められています。これは地域のことは地域に住む住民が、責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会づくりを指しています。この中であって申間市が、今までより増して、自立する地域力と財政力を身につけるためには、選択と集中による施策の厳選が不可欠であり、決定までの過程を市民へ情報公開し、施策決定にかかる情報の共有化が必要となります。そして、最も重要になるのが市民との協働で、現在、庁内に協働推進係を設置し、行政手法の転換を図っているところであります。

あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議長のお話につき、初めての新年を迎えましたが、市政発展と円滑なる議会運営に市民の皆さまの期待に添えるよう誠心誠意精進して参る所存であります。

昨年を振り返りますと東日本大震災や高病原性鳥インフル、新燃岳噴火など甚大な災害が発生した年でありました。

国政では野田内閣が発足し、野田総理大臣は所信表明で東日本大震災からの復旧・復興を最優先課題に掲げられました。今も不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に衷心よりお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧・復興を願う次第であります。

申間市に目を向けますと、昨年7月「志布志湾大黒イルカランド」がオープンしました。観光浮揚を期待しております。また申間出身の西宮市甲陽園「ケーキハウスツマカリ」の社長津曲孝さんが「現代の名工」に、山口国体では福島

面を切り切ろうと、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ「南国みやざき最南端！くしま跳ね駒プロジェクト」を策定しました。この計画は宮崎県と申間市が一体となって取り組む「地域創造計画」に昨年、認定されました。これにより県から補助事業などの集中投入による重点的な支援を受け、3カ年での計画実現を目指します。

計画の前身は「新たな観光客の流れの創出」「市民との交流・協働による地域の再生」「新エネルギーの活用による地域の活性化」の3つの方向性に基づき、地域活性化に必要なプロジェクトを展開するもので、本市の命運がかかっているといっても過言ではありません。

これからも厳しい運営が予想されますが、申間市が自立の道を歩んでいけるよう、市民の目線から地域の問題を解決していくことを信条にし、市民との協働を大切にしていきたいと思います。

今後とも市民の皆さま方との情報交換を密にしながら、行政運営に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

さて現在、地方分権型社会の到来を受け、自己決定・自己責任による自治体運営が求められ、行政の真価が問われる時代となっております。本市にあつては、過疎化、少子・高齢化、雇用対策など行政課題が山積しており「申間市第五次長期総合計画」を基本に積極的な活性化対策が肝要であります。

議会においても多様な民意の反映、住民の意見の集約などの役割が求められております。今期の議会は「交通対策」「産業振興・交流促進」「自然エネルギー地域活性化」「議会改革」の調査特別委員会を設置し、申間市の活性化に向けてさらなる努力をしていく所存であります。今後も、「豊かな自然とともに生きる喜びにあふれる協働と交流のまち申間」に向け努力して参ります。

皆さまの本年のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。